



■使用評価マニュアル：CASBEE 2014年版

(使用評価ソフト：CASBEE 2014(v.3.01))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊四季台団地(建替)第3期 第1住	階数	地上7F
建設地	柏市豊四季台二丁目 豊四季台団	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	112 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年5月11日
敷地面積	1,986 m ²	作成者	澤谷芳広
建築面積	572 m ²	確認日	
延床面積	2,549 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>本物件は、「いつまでも在宅で安心した生活が送れるまち」、「いつまでも元気で活躍できるまち」を基本方針とした『長寿社会のまちづくり』を進めること、その具体的な施策としては、「地域包括ケアシステムの具現化」及び「高齢者の生きがい就労の創成」を二本柱として、URの建替事業が事業展開を進めている一部分である。</p>	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・全面的にF☆☆☆☆の建材を採用して空気質環境に配慮する 	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地を可能な限り豊富に設け敷地内の自然環境の保全に配慮する
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱性能を高めて省エネルギーに配慮する 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣に光害を与えないよう配慮する
<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・防汚性に配慮した建材や防錆対策、雨だれ対策を行い、維持管理に配慮する ・劣化等級3を満足し躯体の長寿命化に配慮する ・耐用年数の長い配管材料を採用し耐用性に配慮する 	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ハロンやフロンの使用はせずに汚染物質含有材料の使用を回避に配慮する 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

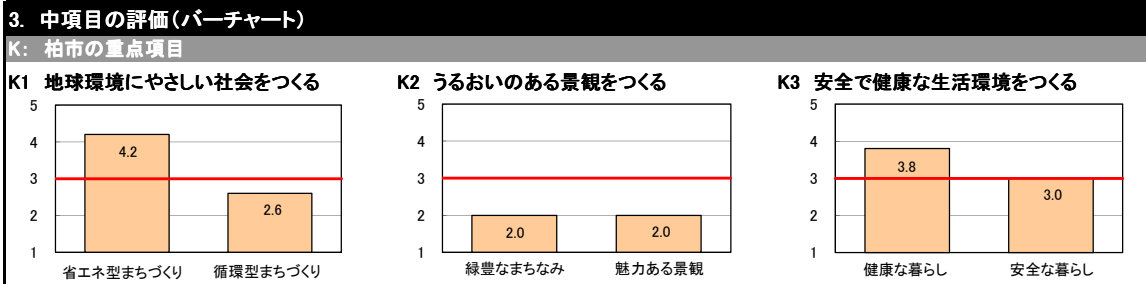


評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.3.01)

1 建物概要			
建物名称	豊四季台団地(建替)第3期 第1住宅建設工事(A-4号棟)	建築物の環境効率 (BEEランク)	B+ ★★★★★

2 重点項目への取組み度			
重点項目	取組み度※(得点/満点)		評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.4 / 5.0	ふつ	
K2 うるおいのある景観をつくる	2.0 / 5.0	がんばろう	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3.4 / 5.0	ふつ	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつ 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項	
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する ・廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する 	<p>スコアシート</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 省エネ型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 5.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 5.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 2. 循環型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.4 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 2.0
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する ・緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する 	<p>スコアシート</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 緑豊かなまちなみ <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 2.0 2. 魅力ある景観 <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 2.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 -
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する 	<p>スコアシート</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 健康な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気環境(Q1-4) スコア 3.6 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 4.0 2. 安全な暮らし <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 -